

全L協保安・業務G5第233号
令和6年3月6日

会 員 各 位

(一社)全国LPガス協会

令和6年能登半島地震の対応等について（お知らせ）

標記地震により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

被災地では、LPガス販売事業者を始め関係者の方々が未だに続いている余震や大雪など過酷な状況の中で懸命に消費者への支援や復旧作業に取り組まれております。

こうした中、被災地の県協会よりご報告いただいておりますLPガス関係の被災状況及び当協会の災害対策中央本部(正副会長、常勤理事で構成)の令和6年2月29日現在の活動状況を別添のとおりまとめましたのでお知らせいたします。

なお、石川県協会におかれましては、令和6年2月28日付けにて、倒壊などの家屋、また、避難して確認が取れない留守の消費者等を除いて、復旧を完了した旨の発表がされました。

以 上

発信手段：Eメール

担当：保安・業務グループ 瀬谷、岩田、橋本

別添

令和6年能登半島地震の対応等について

令和6年3月5日
(一社)全国LPガス協会

【地震内容】

1月 1日 16時 10分	(月)	場所 規模 ○震源の深さ ○石川県 新潟県 富山県 福井県 1月1日 16:06 の最大震度5強の 地震以降	石川県能登地方 マグニチュード 7.6 (暫定値) 16km (暫定値) 各地の震度 (震度 5 強以上) 震度 7 志賀町 震度 6 強 七尾市、輪島市、珠洲市、穴水町 震度 6 弱 中能登町、能登町 震度 5 強 金沢市、小松市、加賀市、羽咋市、 かほく市、能美市、宝達志水町 震度 6 弱 長岡市 震度 5 強 新潟中央区、新潟南区、新潟西区、 新潟西蒲区、三条市、柏崎市、見附市、 燕市、糸魚川市、妙高市、上越市、 佐渡市、南魚沼市、阿賀町、刈羽村 震度 5 強 富山市、高岡市、氷見市、小矢部市、 南砺市、射水市、舟橋村 震度 5 強 あわら市 1月10日 04時 00分現在、震度 1 以上を観測し た地震が 1281 回 (震度 7 : 1 回、震度 6 強 : 0 回、震度 6 弱 : 1 回、震度 5 強 : 7 回、震度 5 弱 : 7 回、震度 4 : 39 回、震度 3 : 142 回、震度 2 : 353 回、震度 1 : 731 回)
------------------	-----	---	--

【対応内容】

1月 1日	(月)	全国LPガス協会 石川県協会 富山県協会 新潟県協会	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策中央本部を設置 ・役職員連絡対応 ・被災県協会および経済産業省に連絡・対応についで調整を実施 ・災害対策本部を設置 ・協会職員が協会事務所の被害状況を確認 ・当日時点被害なし
1月 2日	(火)	石川県協会 福井県協会	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の安否確認 七尾市内 北日本物産中核充填所被害なし 珠洲市内 ミライフ西日本充填所被害なし (その後、確認したところ被害あり、北日本物産中核充填所は4日に再開可能となった) ・ガス漏れ被害あり

		全国LPガス協会	<ul style="list-style-type: none"> ・役職員連絡対応 ・被災県協会および経済産業省に連絡・対応について調整を実施
1月 3日	(水)	石川県協会 全国LPガス協会	<ul style="list-style-type: none"> ・津波による容器流出16本 ・会員の安否確認継続中 ・役職員連絡対応 ・被災県協会および経済産業省に連絡・対応について調整を実施
1月 4日	(木)	石川県協会 全国LPガス協会	<ul style="list-style-type: none"> ・上記16本の他2本合計18本 すべて回収済 ・七尾市のENEOSガスターミナルの設備破損により、LPガスが供給停止となったため、被災地だけでなく石川県内全域でガスの安定供給が困難となっている。 ・上記内容を経済産業省へ連絡、日本LPガス協会へ連絡 ・被災県協会および経済産業省に連絡・対応について調整を実施
1月 5日	(金)	石川県協会 全国LPガス協会	<ul style="list-style-type: none"> ・七尾市のENEOSガスターミナルの設備の修復作業が始まったため、同ターミナルに通じる道路の応急復旧工事を県へ依頼 ・関係団体へLPガス機器関連支援等の協力依頼を実施 ・被災県協会および経済産業省に連絡・対応について調整を実施
1月 6日	(土)	富山県協会 全国LPガス協会	<ul style="list-style-type: none"> ・中核充填所の貯蔵量がひっ迫 ・上記内容について経済産業省へ連絡 ・経済産業省に対して保安業務の期限延長の要望 ・役職員連絡対応 ・被災県協会および経済産業省に連絡・対応について調整を実施
1月 7日	(日)	石川県協会 全国LPガス協会	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所の供給不足の連絡なし、石川県消防保安課と連携して対応 ・仮設住宅の建設が動き出した。 ・昨年5月の地震を踏まえ、珠洲市は支部のグループラインができており、安否確認ができた ・役職員連絡対応 ・被災県協会および経済産業省に連絡・対応について調整を実施
1月 8日	(月)	全国LPガス協会	<ul style="list-style-type: none"> ・役職員連絡対応 ・被災県協会および経済産業省に連絡・対応について調整を実施
1月 9日	(火)	石川県協会	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設住宅の問い合わせについて対応
1月10日	(水)	富山県協会 全国LPガス協会	<ul style="list-style-type: none"> ・中核充填所の貯蔵量のひっ迫は解消 ・日本LPガス協会、経済産業省等とLPガスの受け入れ態勢等会議に参加 ・関係協会および経済産業省に連絡・対応について調整を実施

1月11日	(木)	全国LPガス協会	<ul style="list-style-type: none"> 被災県協会および経済産業省に連絡・対応について調整を実施 本地震に対する支援金の募集を会員へ実施
1月12日	(金)	全国LPガス協会	<ul style="list-style-type: none"> 石川県協会と被災状況等についての会議をWEBにて開催 LPガス災害対応中央連絡会議をWEBにて開催(日本LPガス協会、(一社)日本エルピーガス供給機器工業会、日本ガスメーター工業会、ガス警報器工業会、(一社)日本ガス石油機器工業会、(一社)日本エルピーガスプラント協会、(一社)全国高圧ガス容器検査協会、日本液化石油ガス協議会、経済産業省ガス安全室、燃料流通政策室、高圧ガス保安協会が出席) 被災県協会および経済産業省に連絡・対応について調整を実施
1月15日	(月)	経済産業省	<ul style="list-style-type: none"> (一社)石川県エルピーガス協会に対して、仮設住宅の入居者への経済的負担が軽減されるよう発出(別紙1-1) (一社)プレハブ建築協会に対して、仮設住宅の設置にあたり、LPガス事業者へ設置工事費の負担を求めないことについて発出(別紙1-2)
1月17日	(水)	全国LPガス協会	<ul style="list-style-type: none"> 石川県内の充填所被害状況確認
1月17日	(水)	全国LPガス協会	<ul style="list-style-type: none"> 1/17~20 全L協職員を富山県協会、石川県協会等に派遣し、被害状況の把握、支援等の調査
1月19日	(金)	石川県協会	<ul style="list-style-type: none"> 能登町、珠洲市大谷町へ支援物資を搬送
1月19日	(金)	石川県協会	<ul style="list-style-type: none"> 全国LPガス協会会長へ人員支援の要請 輪島市へ支援物資を搬送
1月22日	(月)	全国LPガス協会	<ul style="list-style-type: none"> 新潟県協会、石川県協会、富山県協会、福井県協会へ災害見舞金を贈呈
1月31日	(水)	石川県協会	<ul style="list-style-type: none"> 珠洲市、輪島市、能登町、穴水町の会員47社に対して、現在の営業状況の聞き取り調査を実施。(取引先卸からの情報含む。)営業中が42社、休業中が5社。電話使用可能が33社(固定電話可能24、携帯等への転送9社)FAX使用可能が25社。県協会で携帯電話番号確認済み43社。メールアドレス確認済みが30社。 固定電話については、珠洲市で7社、輪島市で2社、能登町で5社の計14社が使用不可であった。 石川県資源循環推進課に対して、倒壊した家屋の下にLPガス容器が残置されているケースがあることから、以下の内容を市町廃棄物担当課に連絡をしていただいた。 【倒壊家屋、土砂、瓦礫等の撤去作業にあたられる皆様へ】(別紙2-1) 併せて、津波等による流出容器についても、以下の内容を市町廃棄物担当課に連絡をしていただいた。 【流出したLP容器を発見された皆様へ】(別紙2-2)
2月20日	(火)	石川県協会	<ul style="list-style-type: none"> 会員事業者(被災地の奥能登2市2町除く)あてに「仮設住宅配管工事に係る応援設備士の参加依

			<p>頼」を連絡。</p> <p>< 概要 ></p> <p>能登半島地震の被災地では、L P ガスを使用する応急仮設住宅の建設が進んでおり、現時点で約 2,300 戸が着工されている。石川県では当初計画していた 3 千戸から 4 千戸に建設戸数を上方修正することとなった。現在、会員卸事業者により、仮設住宅への配管工場が鋭意進められているが、短期間でかつ大量の仮設住宅の建設が集中したため、ガス配管工事に係るマンパワーが不足している状況にある。</p> <p>上記により、県協会では災害時応援設備士を登録した販売店（64 社・109 名）や、登録していない販売店を問わず、仮設住宅でのガス配管工事に取り組んでいる卸事業者の工事チームに参加して頂ける「応援設備士」を募集する。今回の仮設住宅には、一部の仮設住宅のキッチンにはIHが採用され、給湯はすべてL P ガスが利用されることから、災害に強いL P ガスをアピールする上でも会員各位のご協力を願いたい。</p>
2月28日	(水)	石川県協会	<p>・2/28～3/2 中プ連（中部ブロック）から職員1名（三重県協会）を事務局支援として石川県協会に派遣。</p>
2月28日	(水)	石川県協会	<p>・協会ホームページに「L P ガス(プロパンガス)は、一部を除き復旧を完了」を掲載。(別紙3)</p>

【被害状況】

1月10日時点	石川県協会 富山県協会 福井県協会 新潟県協会	<ul style="list-style-type: none"> ・販売事業者事務所被害調査中 ・LPガススタンド 2ヶ所 ・ガス漏れ等 41件、未復旧 27件 調査中 ・LPガス関係者 1名死亡 <ul style="list-style-type: none"> ・販売事業者事務所被害 2ヶ所 ・ガス漏れ 1件(復旧済) ・ガス漏れ 1件(仮復旧)
1月15日時点	石川県協会	<ul style="list-style-type: none"> ・販売事業者事務所被害 調査中 ・LPガススタンド 2ヶ所 ・ガス漏れ等 112件 未復旧 98件
1月16日時点	富山県協会	<ul style="list-style-type: none"> ・販売事業者事務所被害 5件 ・容器置場、充填所 1ヶ所 ・ガス漏れ等 17件 未復旧 8件
1月17日時点	石川県協会	<ul style="list-style-type: none"> ・販売事業者事務所被害 調査中 ・LPガススタンド 2ヶ所 ・ガス漏れ等 104件 未復旧 89件
1月18日時点	富山県協会	<ul style="list-style-type: none"> ・販売事業者事務所被害 7件 ・容器置場 1ヶ所 ・車両被害 2台 ・ガス漏れ等 19件 未復旧 7件(供給停止(閉栓))
1月22日時点	富山県協会 石川県協会	<ul style="list-style-type: none"> ・販売事業者事務所被害 9件 ・容器置場 1ヶ所 ・車両被害 2台 ・ガス漏れ等 21件 未復旧 5件(供給停止(閉栓)) <ul style="list-style-type: none"> ・販売事業者事務所被害 15件 ・容器置場、充填所 5ヶ所 ・LPガススタンド 2ヶ所 ・車両被害 5台 ・ガス漏れ等 200件 未復旧 180件 ・応急仮設住宅(給湯LPガスが採用) 1月21日時点で七尾市30戸、輪島市76戸、珠洲市90戸、能登町66戸、穴水町76戸の計338戸が建設着工済み。
1月24日時点	石川県協会	<ul style="list-style-type: none"> ・販売事業者事務所被害 15件 ・容器置場、充填所 5ヶ所 ・LPガススタンド 2ヶ所 ・車両被害 5台 ・ガス漏れ等 202件 未復旧 171件 ・仮設住宅 1月～3月の各月で1千戸の応急仮設住宅(計3千戸)を建設。
1月25日時点	石川県協会	<ul style="list-style-type: none"> ・販売事業者事務所被害 15件 ・容器置場、充填所 5ヶ所 ・LPガススタンド 2ヶ所 ・車両被害 5台

		<ul style="list-style-type: none"> ・ガス漏れ等 204件 未復旧 169件 ・ENEOS ガスターミナルの制限付き出荷について、「在庫分出荷に関しては3月中旬頃までの出荷が可能との見込み。」をHPで公表。
1月31日時点	石川県協会	<ul style="list-style-type: none"> ・負傷者1名 ・販売事業者事務所被害 15件 ・容器置場、充填所 5ヶ所 ・LPガススタンド 2ヶ所 ・車両被害 5台 ・ガス漏れ等 274件 未復旧 222件
2月1日時点	石川県協会	<ul style="list-style-type: none"> ・負傷者1名 ・販売事業者事務所被害 15件 ・容器置場、充填所 5ヶ所 ・LPガススタンド 2ヶ所 ・車両被害 5台 ・ガス漏れ等 278件 未復旧 225件
2月8日時点	石川県協会	<ul style="list-style-type: none"> ・負傷者1名 ・販売事業者事務所被害 15件 ・容器置場、充填所 5ヶ所 ・LPガススタンド 2ヶ所 ・車両被害 5台 ・ガス漏れ等 285件 未復旧 197件
2月9日時点	富山県協会	<ul style="list-style-type: none"> ・販売事業者事務所被害 10件 ・容器置場 1ヶ所 ・車両被害 2台 ・ガス漏れ等 32件 未復旧 0件(供給停止(閉栓))
2月19日時点 数値に変更無し	石川県協会	<ul style="list-style-type: none"> ・負傷者1名 ・販売事業者事務所被害 15件 ・容器置場、充填所 5ヶ所 ・LPガススタンド 2ヶ所 ・車両被害 5台 ・ガス漏れ等 285件 未復旧 197件
2月19日時点 数値に変更無し	富山県協会	<ul style="list-style-type: none"> ・販売事業者事務所被害 10件 ・容器置場 1ヶ所 ・車両被害 2台 ・ガス漏れ等 32件 未復旧 0件(供給停止(閉栓))
2月29日時点	石川県協会	<ul style="list-style-type: none"> ・負傷者2名 ・販売事業者事務所被害 68件 ・容器置場、充填所 20ヶ所 ・LPガススタンド 2ヶ所 ・車両被害 7台 ・ガス漏れ等 285件 未復旧 0件(倒壊家屋等を除き復旧済み)

令和6年1月15日

一般社団法人石川県エルピーガス協会
会長 山本 久雄 殿

経済産業省 資源エネルギー庁資源・燃料部燃料流通政策室
室長 日置 純子

石川県における仮設住宅の設置にあたってのお願い

日頃、資源エネルギー行政に御理解頂きありがとうございます。

また、今般発生した能登半島地震において被災された販売事業者の皆様にお見舞いを申し上げますとともに、県内の販売事業者による復旧作業と消費者への安定供給に向けた御努力、御協力に感謝申し上げます。

さて、現在も多くの住民が避難所生活を余儀なくされておりますところ、今後、居住環境の改善に向けて、仮設住宅の建設が本格化していくものと承知しています。

仮設住宅の建設に際しては、東日本大震災時と同様、プレハブ建築業者からの依頼を受けて、LPガス事業者が仮設住宅に付随するLPガス配管（ガスメーターから給湯器等消費機器に至るまでの配管）や給湯器の設置工事を実施するものと理解しております。

東日本大震災時においては、仮設住宅を建設するプレハブ建築業者がコスト削減の必要性からLPガス事業者に対し仮設住宅設置費用として含まれるべき上記の設置工事費の圧縮を求めたため、被災事業者でもある中小のLPガス事業者の中には、当該工事費の一部をガス料金に転嫁することを余儀なくされたという事業者もありました。

仮設住宅へのLPガス供給を担うであろう地元の多くのLPガス事業者は経営体力の弱い中小零細事業者であり、また、被災により経済的にも打撃を受けている状況であることは理解しています。

しかしながら、今後、石川県において仮設住宅の建設を進めるに際しては、仮設住宅での生活を余儀なくされた被災者には、決して多くの負担をかけるようなことがあってはならないと考えております。

このため、プレハブ建築業者に対して、一般財団法人プレハブ建築協会を通じて、被災者第一の対応をお願いしているところですが、貴協会におかれましても、上記の事情を理解して頂いた上で、上記の設置工事費の支払いをプレハブ建築業者に求めるなど、仮設住宅入居者の経済的負担が極力軽減されるよう、各会員に対して御協力を求めているようをお願いいたします。

別紙 1 - 2

令和6年1月15日

一般社団法人プレハブ建築協会
会長 堀内 容介 殿

経済産業省 資源エネルギー庁資源・燃料部燃料流通政策室
室長 日置 純子

石川県における仮設住宅の設置にあたってのお願い

日頃、経済産業行政に御理解頂きありがとうございます。

今般発生した能登半島地震においては、多くの住民が現在も避難所生活を余儀なくされ、今後、居住環境の改善に向けて、仮設住宅の建設が本格化していくものと承知しています。

仮設住宅の建設に際しては、東日本大震災時と同様、貴協会員からの依頼を受けて、LPガス事業者が仮設住宅に付随するLPガス配管（ガスメーターから給湯器等消費機器に至るまでの配管）や給湯器の設置工事を実施するものと理解しております。

東日本大震災時においては、仮設住宅を建設する事業者がコスト削減の必要性からLPガス事業者に対し仮設住宅設置費用として含まれるべき上記の設置工事費の圧縮を求めたため、被災事業者でもある中小のLPガス事業者の中には、当該工事費の一部をガス料金に転嫁することを余儀なくされたという事業者もありました。

今後、石川県において仮設住宅の建設を進めるに際しては、仮設住宅での生活を余儀なくされた被災者には、決して多くの負担をかけるようなことがあってはならないと考えております。

LPガス事業者にあっても被災者第一の対応をお願いしているところではありますが、仮設住宅へのLPガス供給を担うであろう地元の多くのLPガス事業者は経営体力の弱い中小零細事業者であり、また、被災により経済的にも打撃を受けている状況です。

つきましては、貴協会におかれましては、上記の事情を理解して頂いた上で、仮設住宅入居者の経済的負担が極力軽減されるよう、各会員に対して御協力を求めているようお願いいたします。

別紙 2 - 1

倒壊家屋、土砂、瓦礫等の撤去作業にあられる皆様へ

(一社)石川県エルピーガス協会

重機等を使った倒壊家屋等の撤去作業における注意事項について

地震・津波により倒壊した住宅・工場等において、重機等を使った撤去作業にあつては、倒壊した家屋等の下に LP ガス容器や高圧ガス容器が紛れ込んでいる可能性があります。

撤去作業にあつては、二次災害防止のため、下記事項に留意して頂くようお願いします。

記

倒壊家屋・土砂・瓦礫等の撤去作業時の注意事項

1. LP ガス容器、高圧ガス容器が土砂や倒壊家屋等の中に残っている可能性があるため、重機の扱いは慎重にお願い致します。
2. 万が一、重機の接触による容器破損等により LP ガスが漏洩した場合は、ただちに作業を中止し、避難のうえ、容器に記載の LP ガス事業者または(一社)石川県エルピーガス協会にご連絡をお願いします。
3. LP ガス容器等を発見された場合は、一時安全な場所(路肩等)に置いて頂き、容器に記載されている販売店等にご連絡ください。可能な限り速やかに回収に伺います。なお、販売店等と連絡が取れない場合は、(一社)石川県エルピーガス協会までご連絡下さい。

(一社)石川県エルピーガス協会の連絡先

電話番号 076-254-0634

FAX 番号 076-254-0644

流出した LP 容器を発見された皆様へ

(一社)石川県エルピーガス協会

「令和6年能登半島地震」による LP ガスに関するお願い

この度の能登半島地震により被災されました皆様に謹んでお見舞い申し上げます。
皆様の安全と一日も早い復旧を心からお祈りいたします。

さて、この度の災害により流出した LP ガス容器を発見された方は下記の事項についてご注意いただきますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

記

- 流出した LP ガス容器には、みだりに触らず、移動もさせないでください。
- ガス臭くなくても、容器周辺で火器を使用しないでください。
- 容器に記載の LP ガス事業者、または、石川県エルピーガス協会にご連絡くださいますようお願いいたします。

(一社)石川県エルピーガス協会の連絡先

電話番号 076-254-0634

FAX 番号 076-254-0644

別紙 3

L P ガスをご使用のお客様へ

L P ガス(プロパンガス)は、一部を除き復旧を完了

令和 6 年 2 月 2 8 日

このたびの能登半島地震で被災された方々に、心からお見舞いを申し上げます。

L P ガス販売事業者は、1 月 1 日の地震発生直後から被災地のお客様宅にお伺いし、二次被害の防止を第一に、倒壊したご家庭から L P ガス容器を回収するなど復旧に取り組んでまいりました。

甚大な被害が発生した奥能登 2 市 2 町の世帯数は約 2 万 4 千世帯であり、その内、L P ガス世帯は約 2 万世帯となっております。

各事業者では、全社一丸となってお客様宅の L P ガス設備の安全点検を行い、倒壊などの家屋を除き、また、避難して連絡が取れない留守家庭等を除いて、2 月中旬には支障なくご使用をいただいている状況となりました。

なお、L P ガスのご使用にあたり、お問い合わせなどがございましたら、下記までご連絡をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

記

連絡先

金沢市鞍月 2 丁目 3 番地 (一社) 石川県エルピーガス協会
電話 076 - 254 - 0634

お取引の L P ガス販売店

以 上